

もち²×スマ もちもちの木smile

TOPICS

- ✓ 総会や相談業務をオンライン化
- ✓ WithコロナTシャツ発売開始
- ✓ もちもちスタッフ それぞれの働き方
総務・デイサービス土橋のおうち 生活相談員
伊藤 多喜子さん

もちもちの木動画配信の案内ー YouTube

本誌記載のZoomオンライン相談窓口に関する動画を配信中！



グループホームの紹介動画も配信しています。

土橋のおうち

古田のおうち



卷頭言 オンラインが高齢者のお守りになるとき

何者が明確でない新型コロナウィルスを前にワクチンも無く状況はもう元には戻らない。私は災害ボランティアで学んだ方法の原理に沿って「状況が変わったからね。目的はつながること、集まらなくても繋がる工夫を考えるしかないと思うんよね」と活動者に伝えていた。3月末から全ての会議、面会、そして総会もオンラインで実施することに決定。この状況を地域活動のリーダーに伝え、オンライン化の話をすると受け入れがたい表情をした。しかし「また第2波、第3波といつまでも待てられないですよね。今できる範囲で活動開始していきます！」と言ってくれた。この庚午カフェ※1は全て住民の手で運営されており、全国的な好事例として行政や研究者の注目を浴び多くの人が視察に来ていた。高齢者の環境を変えるのは簡単ではない。

そんな中で認知症当事者の入野輝雄さん(80歳)は「も

ちもちカフェ※2」zoomオンライン講座と交流会に参加された。このカフェに参加するため東京の息子さんがサポートしてくれて家族会議もしたという。遠距離でのつながりもオンラインならではだ。



理事長 竹中庸子

高齢者や馴染みのない方にとっては「概念」の無いオンラインの世界だが、これからはオンライン診療やオンライン相談など画面をタッチするだけで安心とつながれる時代へと向かっている。新しい安心を得る方法として身を守るお守りの一つに加えて欲しい。

もちもちの木では少人数で高齢者向けのオンライン体験を通して、この新たな概念に関心を深めていただく活動を開始する。新たなオンライン化が皆様を守り役立つお守りになることを願い広めていきたい。

※1、2 「庚午カフェ」「もちもちカフェ」は、介護や認知症についてカフェスタイルで気軽に情報提供しています。

令和2年度 第19期通常総会開催しました。

去る、令和2年2020年6月13日（土）18：30～19：30に第19期総会をZOOMオンラインにて開催いたしました（YouTube同時配信）。総勢40名以上に視聴いただき無事に終えることができました。

相談業務をZoomで実施中です！

介護や認知症に関するお悩みで相談したいけれど外出に不安がある方へ、オンライン相談窓口を開設しました。詳細は、下記総務までお問い合わせください。

もちもちオリジナルWithコロナTシャツ発売！

もちもちの木オリジナルTシャツ（デザイン・ウエダサユリさん）が完成。一日も早い収束を願い、新しい生活様式を広め、高齢者介護の最前線にあるもちもちの木を応援していただくためのTシャツです。



もちもちの木公式サイト
<https://mochi2.stars.ne.jp>



デザインは「距離」「マスク」「うがい」の3種類。

ご購入には事前予約が必要です。お申し込みは総務まで。

もちもちの木 総務

082-294-9346

もちもちの木 働き方改革



もちもちの木には多様な働き方があります。パート、正職員、短時間正職員、嘱託職員という雇用形態のほか、育児や介護、地域活動や芸術活動との両立など。

今回は、もちもちの木を陰で支える総務スタッフをご紹介いたします。

もちもちの木総務で短時間正職員として働く、勤続7年のベテランスタッフ伊藤多喜子さん。組織全体に関する事務を扱うほか、事業所や職員の内部調整、人事、企画、広報業務、相談員など様々な業務を担当しています。



総務・相談員
伊藤多喜子さん

都市計画に関わる仕事や広告代理店の営業、イベント企画などを経てもちもちの木へ就職。前職は非常にハードで心身に大変なこともありましたがイベント企画などは面白く仕事は続けるつもりだったといいます。ある日、股関節に違和感を感じ病院受診、30代後半で変形性股関節症と診断されました。

これまでの自身の身体を顧みなかった生活から一転、リハビリに励む傍ら足に合うように生活を整えていく中、「障がい」は全くの無関係だと思っていた自分が、今後どうなることかと不安でいっぱいでした。しかし、両脚が人工関節でも自分に合うように働いている人や様々な障がいを持ちながらも働いている人がたくさんいることを知り精神的に救われたそうです。

当時、仕事は営業職から営業事務へ降格。好きな仕事ではなくなり、やりがいを感じられず転職を考えました。立ち仕事ができないため座ってできる専門職を検討し産業カウンセラーの資格を取得。しかし、それだけでは食べていくことができません。過去に仕事でご縁のあった社会福祉士に境遇を相談すると「社会福祉士」をすすめられ目指すことに。2年間、仕事をしながら早朝、夜間と睡眠時間を削り猛勉強の末、無事に資格を取得しました。その後、同じ方に紹介してもらい理念に共感できたもちもちの木に就職。しかし介護職は身体的に無理、相談員としての相談業務も現場が分からぬいため総務で一から学ぶこととなり、現在に至ります。

転職したことにより、「単なるサラリーマンでやっていた頃より、法人というのがどのように成り立っているのか勉強になった。視野が広がった」と伊藤さん。産業カウンセラーの資格は、職員の雇用関係や職

務環境の改善、人材育成に関わる業務などで役立っています。

また、「これまで厳しい競争社会にいた。会社内でも派閥があり誰が味方かわからない、人が信用できない環境だった。現在は収入は減ったが表裏がなくストレスのない世界」ともちもちの木の居心地の良さを話します。

物心ついたころから伝統的なものや文化的なものが好きで弟子入り修行に憧れていたという伊藤さん。

「伝統が失われていくのがもったいない、継承する人になりたい」と常々思っていたそうです。元々邦楽は好きでしたが大学の頃に縁あって古典の三味線をはじめました。しかし、伝統的な邦楽の世界は様々な流派があり縦の関係も厳しい。その縛りを失くそうと現代の三味線に転向し、現在も仕事の傍ら活動を続け芸歴は30数年になります。ここ10年ほどは自身が企画する日本の伝統音楽の魅力を斬新な切り口で紹介するサロンコンサート「ノートジャパンの邦楽ノート」の活動が忙しかったため自分自身の演奏は行っていませんが、これからも楽しんで続けるつもりだそうです。

もちもちの木では仕事以外の活動も充実させる生き方が法人全体で推奨されています。今の環境は心身共にバランスが取れていてストレスがなく楽しいと語ってくれました。

もちもちの木の人事も担当する伊藤さん。採用するスタッフにはある基準があるそうです。それは「自己一致」。自分自身が満たされ幸福感を持っている人です。仕事以外の活動の場、プライベートが充実しているかどうかはとても重要なことで、そのような人は人間関係のトラブルが少ないといいます。

NPOという課題解決のための仕組みづくりや社会、地域への貢献ができ、働く目的が「社会に貢献すること」というもちもちの木。そのような意気込みを持っている人に来てほしい、と話します。

今後は、新型コロナの影響からも対面は難しく遠隔でのやり取りが増えるため、職員のPCスキルを向上することに、更に注力していくとのことです。

オンラインセミナーのご案内

下記オンラインセミナーを実施いたします！
詳細は Facebook にて。

10/8(木)
20:00~

「知っておきたい認知症のこと」 講師 竹中庸子

お申し込み方法 メールにて事前お申込み
メールアドレス mochimochi.npo@gmail.com
※開催日までに資料データを送付 ※当日、ZOOMの招待URLを送付
ご質問やお問い合わせは下記総務まで、お気軽にご連絡ください。



特定非営利活動法人

もちもちの木

～優しい心～ 迷つたり 探さぬよう そばにいるよ

【本 部】 土橋のおうち 中区土橋町5-35

TEL : 082 (294) 9346 FAX : 082 (294) 9328

MAIL : mochimochi.npo@gmail.com WEB : <https://mochi2.stars.ne.jp>

◎ 古田のおうち 西区古江新町8-32 TEL : 082 (272) 2701

◎ 庚午のおうち 西区庚午中一丁目9-11※お問い合わせは土橋のおうち